

モツタイナイを減らす

建設現場などで残った資材を必要とする業者同士が譲り合う余剰資材マッチングサイト「ノコッタ」を、昨年11月から運営している。システムは簡単だ。会員登録した上、余剰資材を出発地、サイトを見た業者が、掲載業者と交渉し引き取る。登録で出島取引手数料は金、無料だ。

建設現場では余った資材は倉庫などで保管するが、需要がなくなれば廃棄している。ただ、



「八塩板金工業」社長

八塩 雄一さん



八塩雄一さん(左)が「ノコッタ」を運営する「株式会社ノコッタ」の代表取締役社長としてインタビュー。

経営も商標には経費がかかる。手数料を含め全てが無料のサイトは初めてという「八塩板金工業」社長の八塩雄一さん(62)は立ち上げた理由をこう話す。新たなビジネスチャンスが生まれる可能性もあり、サイトの利用は「一筆も物や大車にして」と言われる。一筆も物のメリットがある。

同様のサイトはあるが、取引で気になつて仕方なかった

秋田県横手市生まれ。4歳の時、板金業を継いだ父と共に関東で上京。高校卒業後、父と再び板金職人の道に。5年後、父が急逝したため、後継者として「八塩板金工業」を法人化。朝霞市の自営と川崎市の工場で仕事に没頭。2018年、朝霞市に新社屋を開設した。

スタートから約1年で登録会員は約200社。埼玉と東京を中心に北海道から九州まで全国の業者が登録している。実際に取引が行われたのは約10件にとどまった。資材を引き取りに行く場合、近場を希望するため、余った資材を見つけても遠方では交渉を躊躇するらしい。

八塩さんは「みんなの『モツタイナイ』を減らしていくのが目的。利用者が増え、資材を登録してもらい、皆さんに喜んでほしい」と話している。

(取材) 11